

令和5年度第1回学校関係者評価委員会報告 (及び信頼される学校づくりのための委員会)

1 開催日時

令和5年6月30日(金) 15:00~16:30

2 場所

本校会議室

3 参加者

児玉晃一(PTA会長) 高田政雄(同窓会会長)
萩原聖司(南九州市立川辺中学校長) 菊野竜一郎(菊野病院長)
飯伏志穂子(元PTA副会長) 辰野正寿(川辺町スタンプ会会長)
久木田 智成(南九州警察署川辺交番)
前田(校長) 西(教頭) 前田(事務長) 永長(教務主任)
野木(進路指導副主任) 當房(生徒指導主任) 高山(保健主任)

4 内容

- (1) 校長挨拶
- (2) 参加者自己紹介
- (3) 学校の経営方針等
校長から「学校経営方針」「目標の視点」等、教頭から業務改善アクションプランの説明があった。
- (4) 学校の概況説明等
各部主任より、基本方針、年間計画及び関連する行事について説明があった。
最近の話題から 新聞記事の紹介を行った。
- (5) 協議Ⅰ「学校活性化(定員確保)に向けて」
教頭より、「学校活性化対策協議会ワーキンググループ(WG)」のこれまでの取組について報告を行った後に、各委員と意見交換を行った。

- | | |
|---------|---|
| A
校長 | 「SDGsプロジェクトは実施できそうか？」
「南九州市のふるさと納税のシステムを使ってガバメントクラウドファンディングを行っていく。広報では、地域の祭などで生徒によるチラシ配布を考えている。」 |
| A
校長 | 「企業への呼びかけについてはどうか。」
「まずはWGで考え、生徒とともに企業を回るか考えたい。参考としている学校は企業を回っている。」
「また、取組については、中学生へも広報し、一緒にできればと思う。」 |
| A
校長 | 「生徒と教諭が一体となって、地域への貢献活動が多く行われている様子がこれまでの川辺高校と違うように思えるが、これは、最近のことか。」
「地域からの要望を引き受けて生徒が活動している様子を見た方が、どんどんこれはどうかといってもらえるようになった。書道部、音楽部などの活動もある。」 |
| A | 「川辺高校の広報について、川辺高校から声をかけてもらえれば、こちらがやっている会報でも紹介ができるかもしれない。」 |
| B | 「今年度川辺高校の高校紹介を聞いた中学校生徒から、紹介が面白かった |

など高評価の意見を聞いた。今年度の文化祭も見たが、内容的にも感動するものですばらしかった。ただ、まだまだ川辺高校の魅力は周りの人々に十分に伝わっていないと思うのでもったいない。川辺高校のもっている良さを周りの人に伝えるプレゼンカ、広報力は重要である。川辺高校の魅力の一つは、生徒に寄り添う指導のできる先生方の存在である。先生方の魅力に焦点を当てた紹介をするなどもっと川辺高校の良さをアピールするべきだ。」

B 「試験慣れするためにも検定試験など多く受けることはできるか。」

校長 「検定については、南九州市から補助金が出ている。これからも生徒たちにこのことはしっかり周知し、受験を進めていきたい。」

「広報については、今後インスタグラムの活用も検討している。」

C 「中学生は、私立高校の説明会にいらっているか気になる。私立高校のプレゼンテーションは上手い。川辺高校には生徒の興味を引くプレゼンテーションができるようになってもらいたい。」

C 「川辺高校生の令和4年度の交通事故は6件以外はないか。」

生徒指導主任 「他にもないか確認はしている。間違いはない。」

校長 「今年度数件のバイクによる事故があった。来週に緊急集会を行い、生徒への指導を行う。事故の未然防止に努める。」

D 「校門前で横断歩道を渡る生徒が停止してくれた車に一礼する姿は好印象である。」

「川辺高校への受検者は少ないのは、不思議である。進学実績等も生徒数に対する割合を考えれば立派だと思う。中学生からは、『男子ができる部活動がない。』などと聞く。川辺高校の伝統と卒業生のネットワークなど強みを生かして頑張ってもらいたいと思う。」

E 「地域でバイク通学生の様子をみているが、通学時の交通マナーなどの問題はないと思う。」

F 「地域に係る者として、クラウドファンディングなど広報に協力できることはしたい。声をかけていただきたい。」

校長 「SDGs（断熱）プロジェクトは、鹿児島初、九州でも初となる取組でもある。広報の際は協力をお願いしたい。」

G 「保護者からみれば、川辺高校と加世田高校の進学実績を見る。川辺高校の良さは学校に入るとわかる。SDGsの取組など生かせればと思う。」

A 「川辺高校では、教科の勉強だけでなく、リーダー的視点やなぜやるのか、どのように働くかなど生き方も教えられる学校であってほしい。」

5 来年度の予定

来年度の第2回の開催は令和5年12月1日（金）15：30の予定

6 閉会のことば